

和歌山 NEWS WEB

橋本 野良猫に不妊や去勢手術

11月17日 18時51分



殺処分される猫を減らそうと橋本市で飼い主のいない猫に不妊手術などが行われました。

橋本市では3年前から飼い主のいない野良猫を保護して不妊や去勢手術を施してから再び地域に戻す活動を行っています。

17日は、飼い主がいないいわゆる

野良猫がこれ以上、繁殖しないよう、橋本市の環境美化センターに地域の人やボランティアの人たちが保護したおよそ50匹の猫が集められました。

猫は初めに感染症を防ぐためのワクチンの接種を受けたあと1匹ずつ手術台に乗せられ、獣医師が慎重に手術を行っていました。

猫は経過を観察し、体調が回復したあと、元の地域に戻されるということです。

橋本市生活環境課の下楠朋之課長は「橋本市でも猫の苦情が多くあります。手術をすれば子どもを産むこともなくなるので、地域の人にあたたかく見守ってもらえればと思います」と話していました。